

令和7年度「広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業」 成果報告書

広島市立大学
特任准教授 平尾 順平

【研究テーマ】

芸北の茅葺き（かやぶき）文化を未来へつなぐプロジェクト

【連携した企業・団体等】

- ・NPO 法人西中国山地自然史研究会
- ・株式会社 Earth Building
- ・NPO 法人ひろしまジン大学

【参加学生】

国際学部 3年 4名
国際学部 4年 2名
芸術学部 1年 3名
芸術学部 3年 1名
芸術学部 4年 1名
芸術学研究科（後期課程） 1名
計 12名 （※プラス一般参加者：5名）

【活動の内容】

（1）事業の背景と目的

芸北地域では、かつて茅場（ススキ原）が集落ごとに存在し、地域住民が協働で管理しながら茅葺き屋根を維持してきた。しかし 1960 年代以降、屋根材の変化により茅葺き屋根は急速に減少し、茅場の維持も困難となった。これに伴い草原環境の減少、生態系の変化、担い手不足などの課題が生じている。

本事業は、都市部に在籍する大学生が現地に継続的に関わり、インタープリテーション（IP）を用いた体験型プログラムを開発・実践することで、

- ・茅葺き文化の価値の再発見
 - ・若年層の関与拡大
 - ・広域都市圏内の人的交流の促進
- を目的として実施した。

(2) 実施期間および場所

- 実施期間：補助金交付決定日から令和8年2月28日まで
- 実施場所：北広島町芸北地域（雄鹿原地区ほか）、広島市立大学

(3) 実施内容

① 事前学習（5月）

大学内にて、茅葺き屋根の構造、生態系との関係、中山間地域の人口減少問題等を学習。連携団体と合同ミーティングを実施し、地域課題の共有を行った。

② 現地フィールドワーク（6月・9月）

- ・茅場の視察および茅刈り体験
- ・茅葺き屋根の構造見学
- ・職人および地域住民への聞き取り

自然と暮らしの関係性を体験的に理解する機会となった。

③ 合宿によるIPプログラム開発（7月）

雄鹿原小学校跡地にて合宿を実施。IP手法を用い、体験・対話・問いかけを重視したガイドプログラムを設計、お互いにテスト的に実践、相互フィードバック等を行った。

④ 茅刈りイベントでの実践（11月）

約50名の一般参加者に対して学生がガイドプログラムを実施。開発から実践まで一連のプロセスを経験した。

⑤ 振り返り・成果共有

事後アンケートを実施。※結果は別添③
学内報告会を開催し成果を共有した。

活動効果

(1) 学生への効果

- ・地域文化を体験的に理解する力の向上
- ・企画力、対話力、表現力の向上
- ・主体的に地域に関わる姿勢の形成

(2) 地域への効果

- ・都市部若年層の継続的来訪機会の創出
- ・文化価値の再認識
- ・活動の社会的意義の再確認（（NPO）

(3) 広域都市圏政策への寄与

本事業は、広島市（都市部）と北広島町（中山間地域）をつなぐ複数回型交流モデルとして実施された。単発体験ではなく、

- ・継続訪問
- ・役割付与
- ・対話の深化

を伴う設計とした点が特徴であり、一定の成果を得たと考える。

【添付1】活動の様子（写真）





広島県北西部の「芸北(びいほく)」。
昔ながらの風景や暮らしが残る、自然豊かな地域です。
このプロジェクトでは、芸北に残る茅葺き(かやぶき)屋根の家やスキの原っぱを訪れ、
地域の人と出会いながら、「この文化や風景をどうやって次の世代に伝えるか？」を考えます。

芸北の風景にふれ、人と出会い、”伝える”ことに挑戦しませんか？

日程	ゲスト講師：河野弘樹さん(NPO法人こかからの学びネットワーク代表理事)
1	<p>オリエンテーション・レクチャー オリエンテーション、 インターネットワークショップ・課題調査について</p> <p>日時 5/29(木) 18:00~19:30 場所 広島市立大学(オンラインでの参加も可能)</p>
2	<p>フィールドワーク 原っぱ散策、茅葺き屋根のお家見学など</p> <p>日時 6/7(土) 8:30~18:00 (現地集合の方は10:00~16:00) 場所 北広島町芸北エリア (10:00に美原の自然観察の山原庵に集合)</p>
3	<p>【合宿】 体験プログラムづくり&トライアル 地域の方のお話、体験プログラムづくり、 トライアル実施、フィールドバック</p> <p>日時 7/12(土)~7/13(日) 15:00以降 (市立大学到着17:00頃) 場所 北広島町芸北エリア (10:00に美原の自然観察の山原庵に集合)</p>
4	<p>プログラム実施 体験プログラム実施、 フィールドバック、ふりかえり</p> <p>日時 9/20(土) 8:30~18:00 (現地集合の方は10:00~16:00) 場所 北広島町芸北エリア (10:00に美原の自然観察の山原庵に集合)</p>
5	<p>エクストラ企画 茅刈りイベントへ参加&一般の方向けに 体験プログラムの実施</p> <p>日時 11/23(日) 9:30~15:30(現地実施) 場所 北広島町芸北エリア 主催 NPO法人西中国山地自然史研究会</p>

※各回別々の申し込みが必要となります。予めご了承ください。

定員	要員 参加費は無料ですが以下の実費がかかります。	締切日	2025年 5月16日(金)
12名程度 ※人数が多ければ 調整させていただきます。	各回の風食代 ・7/12~7/13合宿時の宿泊費(5,000円程度)実費 お申し込みください。 ・現地までの交通費 ※広島市立大学から無料バスが出ます。 https://forms.gle/XeyZLSRP1aMV1t66	申込先	

<主催> 広島市立大学「いらだち地域共創プロジェクト」

 NPO法人西中国山地自然史研究会
 <協力> NPO法人ひろしまジندان学
 <お問い合わせ先> 広島市立大学 地域共創センター chi-ren@m.hiroshima-cu.ac.jp

芸北の 茅葺き文化を 未来へつなぐ” プロジェクト

インターネットワークショッププログラム をつくらう

※インターネットワークショップは、体験や実践を通して、ゆかりやつく、楽しく伝える活動の一つ。

【添付3】参加者事後アンケートについて

1. アンケート実施概要

本プロジェクトの終了にあたり、参加者を対象に、伝統文化への理解度、活動への満足度、および今後の継続的な関わりに対する意欲を測定することを目的にアンケート調査を実施した。

2. 総評：

特筆すべき点として、参加者全員が満足度調査において最高評価（5段階評価中「5」）を回答した。本プロジェクトは、単なる伝統文化や技術等の紹介に留まらず、参加者の心に深く響く「体験型価値」を提供できたと言える。

3. 主要な分析結果

① 伝統技術への理解と感動

参加者の多くが、茅葺き職人の「技術の高さ」と「手仕事の美しさ」に強い感銘を受けている。「職人さんの丁寧な仕事を間近で見られたことが最大の収穫だった」「実際に茅に触れることで、その重みや組み上げの緻密さを体感できた」といった、五感を通じた学びが満足度の源泉となっている。

② 循環型社会としての再評価

茅葺きを単なる「古い建物」ではなく、「環境に配慮した持続可能な文化」として再定義する声が目立った。

- ・自然素材を活用し、最後は土に還るというサイクルへの深い理解。
- ・芸北の自然景観と茅葺き屋根が一体となった美しさへの再認識。

③ コミュニティと交流の質

講師陣やスタッフ、参加者同士の交流も高く評価された。

- ・講師の熱意ある指導が参加者のモチベーション維持に繋がった。
- ・共通の目的を持つ仲間との作業を通じて、地域コミュニティへの愛着が醸成された。

4. 参加者の意識変化（Before & After）

アンケート結果から、参加者の意識に以下の変化が見られた。

- ・関心：「興味がある」段階から、「自分にできることは何か（維持・保存への関与）」を考える段階へ深化。
- ・発信：「この素晴らしい文化をより多くの人に伝えたい」という、「伝道師」としての意欲が芽生えている。

5. 今後の課題と展望

今後の活動をより発展させるための示唆として、以下の要望が挙げられた。

継続的な参加機会：単発のイベントではなく、年間を通じた作業（茅刈りから葺き替えまで）への関わりを希望する声。

情報の体系化：工程の解説資料や、作業の記録をより詳細に知りたいという知的好奇心への対応。